



平成28年10月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ デ ィ ア  
代表者名 代表取締役社長 C E O 原尾 正紀  
(コード番号：3935 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 C F O 賀島 義成  
(TEL. 03-5210-5801)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年4月15日に公表いたしました平成29年2月期（平成28年3月1日～平成29年2月）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 通期の業績予想の修正

平成29年2月期（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,500	215	200	174	108.81
今回修正予想 (B)	1,503	45	30	△38	△23.31
増減額 (B-A)	3	△170	△170	△212	—
増減率 (%)	0.2	△79.0	△84.9	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	1,261	162	157	158	108.36

##### 2. 修正の理由

ゲームサービス事業

(自社タイトル)

自社タイトルの予想売上高は、提供中の2タイトルについて、リリースからの経過年数等を考慮し、月間のアクティブユーザー数を平成28年2月期比で15%程度減少を見込んでおりましたが、想定を上回る遜減率となり、2タイトル共に期初の計画を下回る事を見込み、月間のアクティブユーザー数を平成28年2月期比で26%程度の減少率としております。その結果、売上利益共に減少することを見込み、予想売上を当初の269百万円から234百万円へと下方修正することといたしました。

(アライアンスタイトル)

アライアンスタイトルの予想売上高は、既存タイトルの受託運用費、新規タイトルの初期開発費、受託運用費及びレベニューシェアを見込んでおり、予想売上を当初は 876 百万円を見込んでおりましたが、以下の理由により 970 百万円へと上方修正することといたしました。

#### I. 既存タイトル

既存タイトルについては、リリース時から安定した運用を行っており、売上は想定を上回る実績で推移しているものの、今後の収益増を見越したマルチプラットフォーム展開のための追加開発費用が先行しており、利益が想定を下回る見込みとなりました。

#### II. 新規タイトル

新規タイトルについては、3 タイトルのリリースを行い、初期開発費、受託運用費及びレベニューシェアを見込んでおりましたが、リリースしたタイトル①がアクティブユーザー数及び課金率が想定よりも低く、レベニューシェアが期初の見込みを下回ったため、当初計画していた売上利益共に未達となる見込みとなり、収益性が低下したことから当該タイトルの減損処理を行い、当第 2 四半期において 63 百万円の特別損失を計上することとなりました。なお、タイトル①については平成 28 年 11 月にサービスを終了する予定であります。

また、タイトル②において、当初第 1 四半期でのリリース予定でしたが、市場ニーズの変化に対応すべく開発の延長を行ったため、当第 2 四半期でのリリースとなり、リリースが遅れたことで開発費が増加し、売上利益共に想定を下回る見込みとなりました。

タイトル③におきましては、当初は当第 2 四半期でのリリースを予定しておりましたが、楽天株式会社の運営するゲームプラットフォームである楽天アプリ市場の終了により、提供プラットフォームの変更に伴う追加開発によりリリースが遅れました。平成 28 年 10 月初旬のリリース後の日次での売上は想定を上回る売上となっており、通期では想定していた年間売上を上回ることを見込んでいるものの、開発費が想定よりも増加したことによる影響で、利益は想定を下回る見込みとなりました。

#### ライフサポートサービス事業

ライフサポートサービス事業は、ライフサポートサービスの中における通信キャリアが運営するスマートフォン向け定額サービスの新規会員獲得のための広告の収益性が悪化したため、広告投資を抑えることで売上利益共に想定を下回る見込みとなりました。

一方で融合ジャンルサービス、ソリューションサービスにおいては想定通りとなっております。その結果、予想売上を当初の 354 百万円から 298 百万円へと下方修正することといたしました。

以上の結果、それぞれ期初の想定に対し、売上高は微増の 1,503 百万円、営業利益は 170 百万円減の 45 百万円、経常利益は 170 百万円減の 30 百万円、当期純利益は 212 百万円減の当期純損失 38 百万円を見込んでおります。

### 3. 今後の取り組みについて

当初、人員計画において平成 29 年 2 月期末に 100 名の体制を見込んでおりましたが、平成 28 年 9 月末

現在で86名の体制と目標に対して未達であります。

今後、当社の拡大する事業環境に対応すべく人員増強を加速し、開発体制を早急に強化してまいります。

開発体制を強化する事で、クオリティの高いサービスの開発を実現すると共に、想定したスケジュール通りに開発を完了させます。

事業毎におきましては、ゲームサービス事業は、新規タイトルで順調に立ち上がったタイトルに対して、迅速に適切な人員を投入し、売上の最大化を図ります。また、ライフサポートサービス事業は、新規位置情報サービスの投入を行うことで、売上の拡大を狙ってまいります。

#### 4. 役員報酬の減額について

当社は、平成29年2月期の通期業績が大幅な損失を計上する見込みであることを真摯に受け止め、本日開催の取締役会において、経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を決議いたしましたのでお知らせいたします。

対象者 : 代表取締役

減額の内容 : 役員報酬月額の50%を減額

対象期間 : 平成28年10月から平成29年2月までの5ヶ月間

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上